



ミュージックセラピー&アロマセラピー

音楽療法士 たたら康恵先生（明星大学講師）と

アロマセラピスト・薬剤師 長谷川記子先生によるコラボが実現！

2012 年 11 月 3 日（土）千葉県松戸市『森のホール 21』にて

■11 月 3 日（土）午前の部 10：30～11：30

たたら先生は音楽を通じて心を癒し、人と人をつなぐ仕事がしたいと教職をやめて音楽療法士として活動されている方。東日本大震災の被災者や心に傷を負ったままの障碍者を励まそうと現地を訪れる中で、同じ思いで活動していたコンゴ出身の B.B.モフランさんに出会ったそうです。モフランさんは劇団四季のミュージカル『ライオンキング』の初代パーカッション奏者。日本語ペラペラで気配り上手。とても気さくな人でした。

短いお話のあと、さっそく始まったのは《ドラムによる会話》。

見知らぬ人同士が、言葉ではなく太鼓でコミュニケーションをとるのです。わきに抱えているのは「トーキングドラム」と呼ばれ、わきを締めると音が変わります。これをバチで叩きながら「はじめまして」「あなたの洋服、とてもすてきね」みたいな会話を交わすわけですが、言葉じゃないから最初はとても難しい。うまく叩けない人もいます。でもいつの間にかみんな笑顔になって相手の音に耳を傾け、自分のドラムを叩くようになりました。上手いとか下手じゃない。とつとつと話してもそれが個性。全員の個性がいつの間にか光っていました。「音の握手」と呼んでいるそうです。

飛び入りで『アメージンググレース』というゴスペルを歌ってくれた女性の素晴らしい声にうっとりしてきたのはうれしいオマケ♪。

たたら先生とモフランさんのセッションはさすが迫力満点でした。

太鼓の響き、生の音は、その場で生まれ、そして消えていきます。だからそのリズムに触れていると、まさに生きている実感を持ちますね。確かにドラムだと言葉がいないからどんな国の人とでも《会話》ができるし！



午後からは長谷川先生のアロマセラピー講座です！





■11 月 3 日（土）午後の部 13：00～14：00

午後からは和室に移動して長谷川先生の『アロマ講座』。
25 名ほどの参加者には親子連れも交じってワイワイにぎやかな会になりました。

香りの歴史や効果、家庭の中で役立つアロマの使い方など、

気分が落ち込みそうなときにはオレンジの香りを部屋
の中にスプレーするとよい！

お風呂場にはティートゥリーのオイルを数滴使うとカ
ビ防止になる

日々の生活の質（QOL）を高める実践のヒントをたくさん教
えてくださいました。

また長谷川先生の講座では必ず行われる『気』の通し方や、
チャクラにエネルギーを送る体操も全員で行います。風にな
ったイメージ、木になったイメージをしながら大人も子供も
会場の中をクルクルと回ったり体を揺らしたり。こうして十
分にリラックスできて、おしまいまで笑顔があふれる講座に
なりました。

実は午前中のたたら先生によるセラピー講座には長谷川先
生も参加してドラムを叩いていましたし、午後から行われた
長谷川先生のセラピー講座には、たたら先生もご一緒されて
いたんですよ。

分野が違うとはいえ、お互いに絶えず切磋琢磨する姿にも感
銘を受けました。

音楽によるセラピーとアロマセラピーのコラボレーションは新鮮でし
た。

安らぎ、癒しって、私たちにとってとても大切なんだと改めて実感。心
の元気をいただいた一日でした。

たたら先生、モフランさん、そして長谷川先生、ありがとうございました！

